

米国 小売売上高のモメンタムはしっかり

(07年5月小売売上高)

発表日：2007年6月13日(水)

～ガソリン高にもかかわらず4～6月期の実質個人消費は前期比年率+3%程度の伸びを維持する公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
06/05	▲0.4	(+7.1)	+0.2	▲2.0	▲2.5	+0.3	▲0.1	+0.5	▲0.4	+0.7
06/06	▲0.2	(+5.0)	+0.2	▲1.4	▲2.0	+0.9	+0.0	+0.5	+0.7	+1.0
06/07	+1.3	(+4.6)	+0.6	+2.6	+4.2	+0.2	+0.8	+0.7	+1.2	+1.7
06/08	+0.1	(+6.3)	+0.2	▲0.2	▲0.3	+0.4	+0.3	+0.0	▲0.4	▲1.1
06/09	▲0.6	(+5.4)	▲1.0	+0.1	+0.7	+0.5	+0.2	▲1.3	+2.8	▲9.6
06/10	+0.0	(+4.9)	▲0.2	+0.3	+0.9	▲1.0	▲0.9	▲0.3	▲1.2	▲4.5
06/11	+0.3	(+4.5)	+0.5	+0.1	▲0.1	+0.1	+3.4	+0.6	▲0.7	+3.2
06/12	+1.1	(+5.6)	+1.1	+0.9	+1.1	▲0.1	+1.3	+1.0	+1.1	+3.7
07/01	▲0.0	(+2.2)	+0.2	▲0.4	▲0.8	+2.0	▲1.6	+0.4	+2.8	▲0.0
07/02	+0.6	(+3.6)	+0.5	+0.4	+0.8	▲0.1	+0.4	+0.9	▲1.7	+1.6
07/03	+1.0	(+4.4)	+1.1	+0.7	+0.6	+0.0	▲1.0	+1.0	+2.0	+3.1
07/04	▲0.1	(+3.1)	+0.1	▲0.8	▲0.5	▲0.0	+0.5	+0.3	▲1.5	+1.8
07/05	+1.4	(+5.0)	+1.3	+1.7	+1.8	+0.3	+1.3	+1.4	+2.7	+3.8

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。

*1:耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

*2:非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売 売上は前月比+1.3% と加速

07年5月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+1.4%と前月の同▲0.1%から加速し市場予想の同+0.6%を上回った(3、4月合計で0.1%上方改定)。項目別にみると、耐久財では家具、自動車が増加に転じ、家電がプラス幅を拡大したことから、耐久財は拡大に転じた。非耐久財では通信販売、食料品が鈍化したものの、天候が前月から改善し温暖だったことを受け建設資材、衣料品販売、スポーツ用品が増加に転じたうえ、一般小売、その他も増加した。加えて、飲食店売上、ガソリンスタンド売上、薬局での売上が加速したため非耐久財全体でもプラス幅を拡大した。

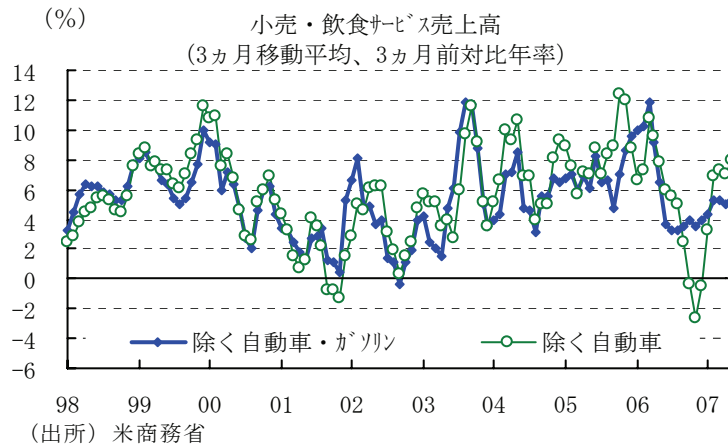
変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は建設資材、衣料品、飲食店の増加によって前月比+1.3%(前月同+0.1%)と前月から加速した。市場予想の+0.7%を上回った(3、4月合計で0.1%ポイント上方改定)。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+1.2%(同▲0.2%)とプラスに転じた。

以上のように、5月の小売売上高(除くガソリン)はガソリン価格が上昇したものの、良好な雇用・所得環境、株式資産残高の増加が続いているもとで、暖かい気温に伴う夏物衣料の販売増加に加えて、自動車の販売が増加した。

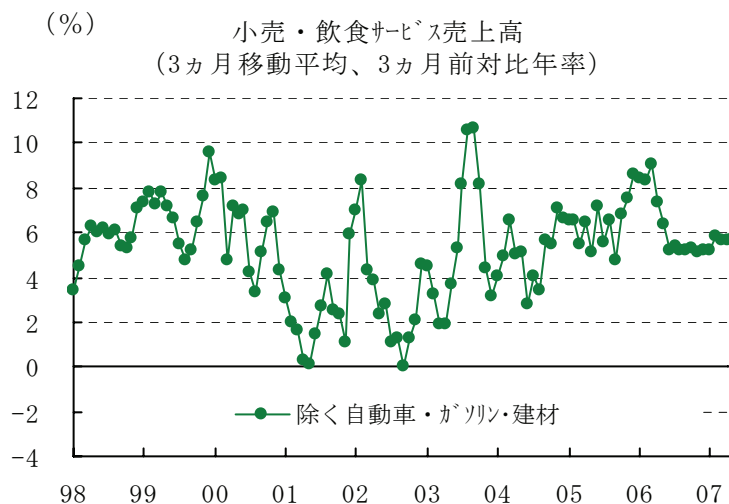
小売売上高は堅調さを維持

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+7.9%（前月+7.0%）と高い伸びを維持した。ただし、この数字はガソリン販売が価格の上昇により高い伸びとなった影響が含まれている。このようなガソリン価格変動の影響を除き消費の基調を示す自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると5月に+5.3%（同+5.0%）と高い伸びを維持しており、消費は堅調さを維持していると判断される。

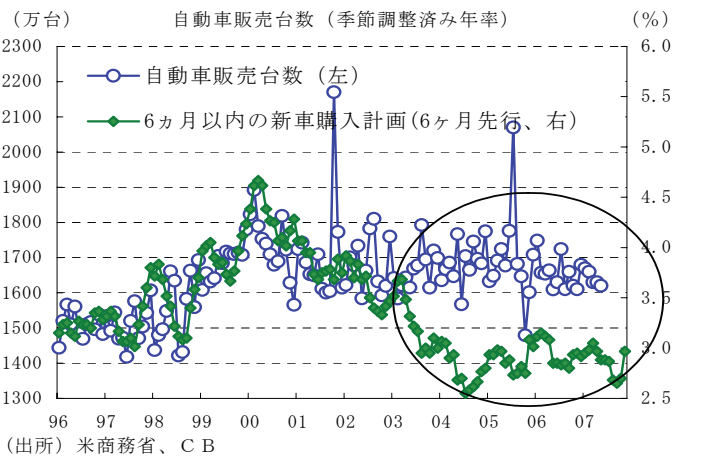
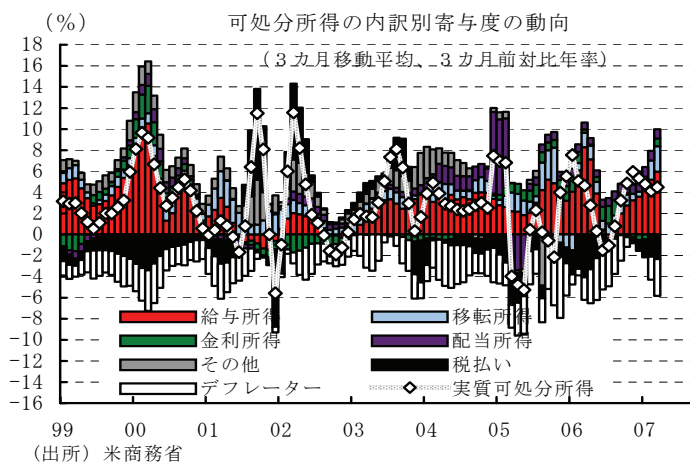
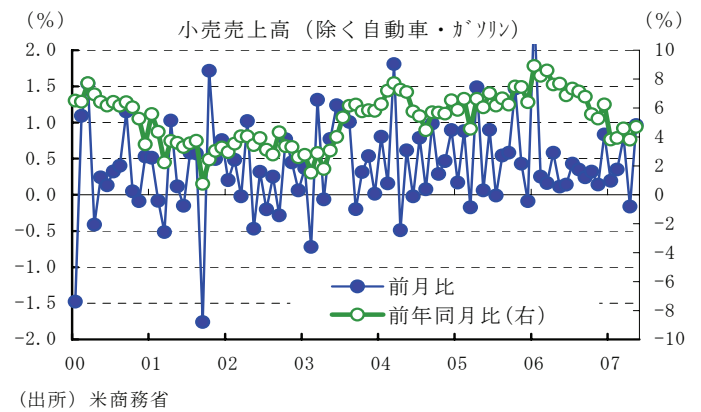
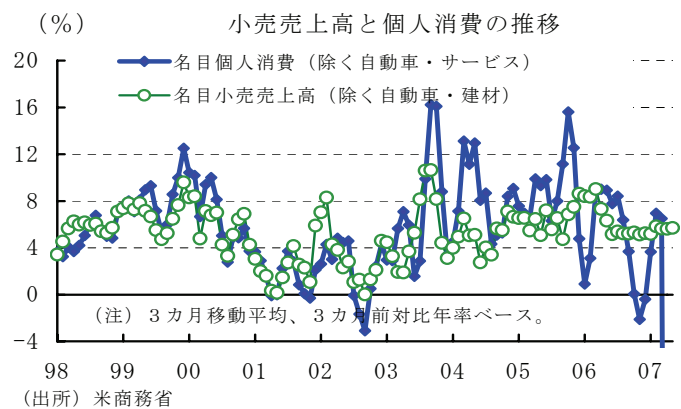
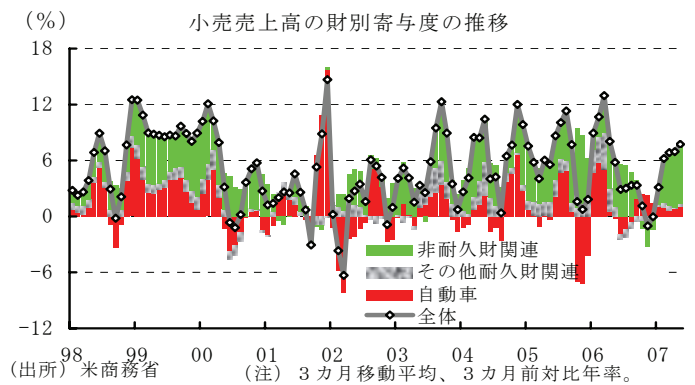
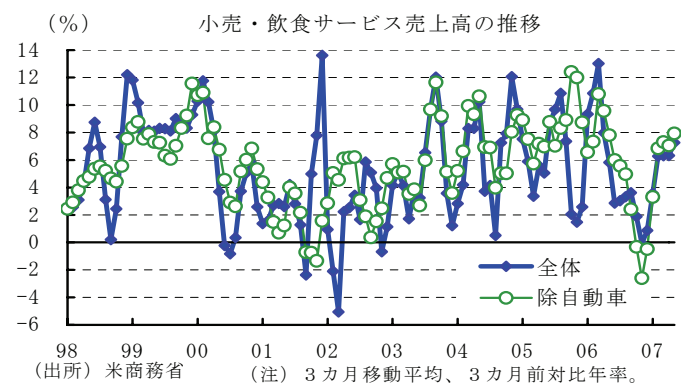
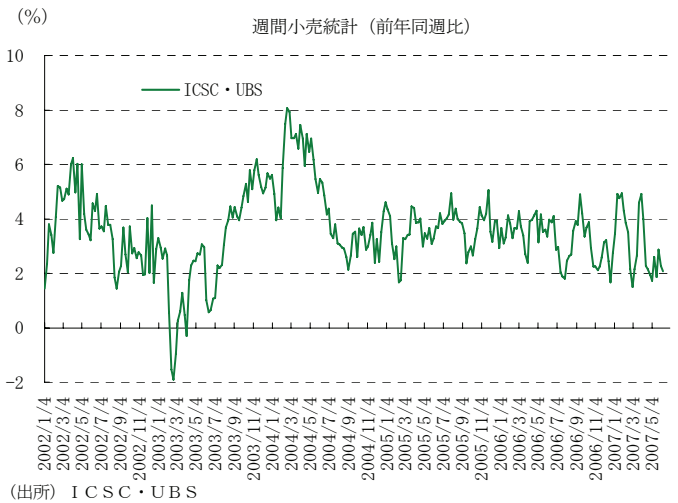
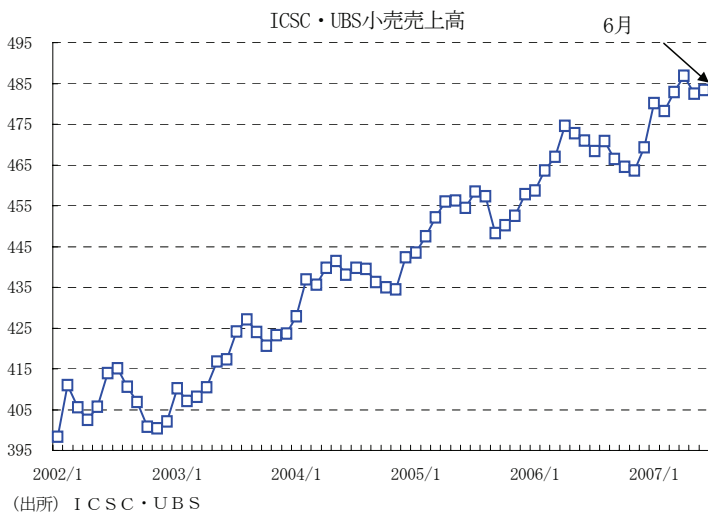


小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+5.7%（前月+5.6%）と高い伸び

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、5月に前月比+0.8%（前月同+0.1%：速報同+0.0%から上方改定）と加速し、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.7%（前月+5.6%）と高い伸びを維持している。この結果、4～6月期の実質個人消費は前期比年率+3.0%程度の伸びが予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。